

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

自然の中で夢中に遊び 心豊かでたくましい大山っ子の育成
 ～だいすきじぶん だいすきともだち だいすき大山～

2 今年度の重点目標

- (1) 発達や学びの連続性を踏まえた教育を充実する。
- (2) 基本的な生活習慣を身につけ、健全な心身の基礎を培う。
- (3) さまざまな体験から豊かな感性と創造性を高める。
- (4) 友だちとのかかわりを大切にし、助け合い、協力ができる子どもを育成する。
- (5) 身近な自然を通して人と関わる力を育む教育の充実を図る。
- (6) 地域とともにある幼稚園づくりを推進する。
- (7) 安全・安心な園づくりに職員一丸となって取り組む。
- (8) 教職員としての資質と実践的指導力の向上を図る。
- (9) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育 課程・ 指導	遊びや保育活動を通して、園児一人一人のよさや可能性を發揮させながら、他人とのかかわり、生きる力の向上や生活習慣の確立をめざすことができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の個性を生かしながら、教育目標達成に向けて取り組んでいる。 ・小規模園であることを生かしつつ、人との交流をさらに図れるよう努めている。 ・年長児・年少時の発達段階や個々の課題に応じた関わりを大切にし、一人一人のよさや可能性を伸ばしていく。
	一人ひとりの子どもが自立に向かうための指導や支援ができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・食育、眠育、あそびの視点を大切に基本的な生活習慣を身につけていくため、保育の工夫をしたり家庭との連携をしたりして取組の充実を図った。 ・園内支援委員会を定例化し、個々の支援について全職員で考え共通理解を図るべく取り組んだ。
	幼・小学校の連携を大切にし、発達の連続性を考慮した保育の推進に取組めたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、運動会等の行事のほか、小学校のいろいろな学年と交流することができた。小学校との連携行事のあり方について、目標や内容の工夫を更に行う。 ・年長児の様子を小学校の全教員が保育参観するなど連続性を考慮した取組の充実を図った。
家庭・ 地域との 連携	家庭や地域の協力のもと、身近な自然を通して人とのかかわったり、五感を育んだりできる保育に取組めたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域素材を生かした保育の充実や地域の方々との交流、「人と自然の博物館」など関係施設事業との連携が図れた。 ・自然の中で人とかかわりを大切にする保育に努めているが、さらに充実をしていくために、地域資源(自然や人)の新たな開拓にも取り組んでいく必要がある。

安全管理	安全で安心した園づくりに取り組むとともに、安全に過ごそうとする態度や思いやりの心を育むことができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を積極的に導入しながら、安心安全な保育をできる環境整備に努めている。 ・避難訓練の他にも部屋での過ごし方や遊具の使い方などについて、機会を捉えて園児に振り返らせて指導するように努めている。 ・安全点検の際は、できるだけ多くの視点で検証できるように留意した。
------	---	---	---

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで作り上げるという協働性に重点をおいた取組は、園児にとってとてもいい経験となる。 ・大山地区の自然豊かな特性を生かして、さくらんぼとりやサワガニとりなど、地域の方々の理解と協力のもとで五感に働きかける楽しい経験ができています。 ・園児が幼稚園に喜んで通っていることが何よりである。 ・小規模園のよさを生かした取組がすすめられている。
--

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> ・学校園だよりをみていると、園や園児の様子がよく分かり楽しく拝見させていただいている。 ・コロナ禍で難しい状況から徐々に行事や活動が戻ってきているが、ねらいに沿った充実した取組となるように、改めて工夫していくことが大切である。 ・教育目標にある「だいすき自分～」は、子どもたちが言葉にして発信できると、より実感できるようになるのではないか。
--

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
遊びや保育活動を通して、園児一人一人のよさや可能性を發揮させながら、他人とかかわり、生きる力の向上や生活習慣の確立をめざすことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる中で、相手のことを思う力が増えているように感じる。家庭での関わりを基盤にしなが、社会性を園でさらに伸ばしていければと思う。 ・一人一人個性があり、成長の度合いも違いがあるので、他の子と比較せず、良いところを更に伸ばしていきたい。
一人ひとりの子どもが自立に向かうための指導や支援ができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援委員会で協議がすすめられているが、毎日の支援の中で小さなことでもしっかりと課題を職員間で共有し、確実に対応することが今後さらに必要になってくる。
幼・小学校の連携を大切に、発達の連続性を考慮した保育の推進に取り組めたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・よく連携できていると感じる。行事等を一緒に行うことも大切だが、日常のことがらにおいても園と学校がさらに行き来できればと思う。 ・小学校へのスムーズな移行ができるよう工夫している。
家庭や地域の協力のもと、身近な自然を通して人とかわったり、五感を育んだりできる保育に取り組めたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・大山の四季を存分に触れられるような活動（魚とり、山登り等）を今後も取り組んでいってほしい。 ・地域の方との交流が、子どもたちにとって大切なこととなり、どんな人にも優しく接していくことにつながると思う。 ・大山などのふるさと大切であるが、もっと広い視野で見ていくことも忘れないようにしたい。
安全で安心した園づくりに取り組むとともに、安全に過ごそうとする態度や思いやりの心を育むことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我や病気など、子どもたちが安全で安心して園生活が送れるよう、丁寧に報告するように努められている。 ・PTA 美化作業日に安全点検を教職員と保護者が一緒に安全点検するなど、より安全な環境作りに取り組んでいる。

